2.5 インチ内蔵 SSD

SHD-N シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

付属 CD に収められた Windows 用の付属ソフトウェアのインストール中にシリアル番号を要求されたら下の文字をすべて入れてください。大文字小文字も下の通り区別して入れて下さい。

Acronis True Image LE:

Acronis Migrate Easy:

Acronis Disk Director LE :

Acronis DriveCleanser:

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意していただきたい事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　A: フロッピードライブ、C: SSD（ソリッドステートドライブ）

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・文中 < > で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。(例)<Enter>

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：感電注意) が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特に CPU や VGA チップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチを OFF にした後、30 分以上たってから作業することをおすすめします。

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。また、本製品のシールをはがした場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグをコンセントに接続したまま取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンの電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンの電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品やパソコンを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐにパソコンの電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品やパソコンに液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにパソコンの電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

⚠ 注意

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

強制

各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクターには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータを MO ディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください 。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

本製品内やハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（MO ディスク 、フロッピーディスク等）にバックアップしてください。

とくに修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合にデータは消失、破損する恐れがあります。

- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチを OFF にした直後に、すぐに電源スイッチを ON にしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電や火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
　　故障の原因となります。
・振動が発生するところ
　　けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
　　転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
　　故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
　　故障や変形の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　　故障や変形の原因となります。
・漏電、漏水の危険があるところ
　　故障や感電の原因となります。
・ほこりの多いところ
　　故障の原因となります。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目次

1 ご使用になる前に

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

1　ご使用になる前に .... 本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

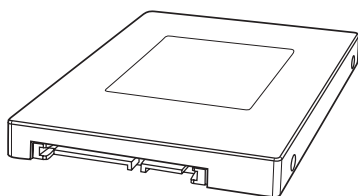
2　取り付け .... 本製品をパソコン内蔵のハードディスクと交換する手順を説明しています。

3　OS のインストール .... 本製品に OS をインストールする手順を説明しています。

4　付録 .... 付属ソフトウェアの説明や本製品の仕様・制限事項について説明しています。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●本製品 ....1 台

●ユーティリティー CD.......................................1 枚

※ Acronis True Image LE や Acronis Migrate Easy の起動用 CD にもなっています。パソコンを起動・再起動するときはユーティリティー CD をパソコンから取り出してください。そのまま起動・再起動すると、Windows が起動する前に Acronis True Image LE や Acronis Migrate Easy が起動することがあります。

●ユーザーズマニュアル（本書）......................1 冊

※本書には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

作業のながれ

次の手順で作業を行います。

- バックアップディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコンのマニュアルを参照してバックアップディスクを作成する —— パソコンのマニュアル参照

▼

- パソコン及び周辺機器の電源スイッチを OFF にし、バッテリー及びケーブル類を外す

▼

- 本製品を固定ディスクスロットに取り付ける

▼

- パソコンの電源スイッチを ON にする

（以上 3 項目：「2 取り付け」【P8】参照）

▼

- OS をインストールする

▼

- パソコンを再起動する

（以上 2 項目：「OS のインストール」【P13】参照
※バックアップディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコンのマニュアルを参照してください。）

2 取り付け

本製品をパソコンに取り付ける手順の例を説明しています。

取り付け作業を行うと、パソコンメーカーの保証が受けられなくなることがあります。
本製品をパソコンに取り付ける場合、パソコンを分解する必要があります。パソコンメーカーによっては、パソコンを分解すると保証が受けられなくなくことがありますので、あらかじめご了承ください。

取り付けの前に必ずお読みください

- パソコンや本製品は精密機器です。必ず巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」をお読みください。
- パソコンの電源スイッチを OFF にする前に、すべてのアプリケーションを終了し、ハードディスクなどに記録されている大切なデータを、他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。
- バックアップディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコンのマニュアルを参照してバックアップディスクを作成してください。
- **作業を行うときは、パソコン本体のマニュアルに記載されている注意事項を必ずお守りください。**
- **取り付け作業を行う前に、パソコンの電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を必ず外してください。【パソコン本体のマニュアルを参照】**
  電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を外さずに取り付け作業を行うと、感電する恐れがあります。
- **本製品の取り付け作業でパソコン本体や本製品を破損 / 故障した場合、パソコンメーカーや弊社では一切保証致しかねます。**
  本製品の取り付け作業は、ご自身の責任で行ってください。
- **弊社では、パソコン本体（本製品を取り付けたパソコンを含む）に対する保証は致しかねます。**
- **静電気による破損を防ぐため、本製品やパソコン本体に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**
  人体などからの静電気は、パソコン本体や本製品を破損、またはデータを消失させる恐れがあります。
- **パソコン本体の仕様によっては、本製品の容量を全て使用できないことがあります。**
  パソコンの仕様によって、使用できる容量に制限があることがあります。お使いのパソコンが本製品の容量に対応しているかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。
- **次の物を用意してください。**
  ・パソコンと周辺機器のマニュアル
  ・ドライバーなどの工具

取り付け手順例

本製品は、パソコン（DOS/V、Macintosh）に取り付けることができます。以下の例を参考に取り付けてください。

DOS/V パソコンの場合............... P10 を参照して取り付けてください。

Macintosh の場合........................ P11 を参照して取り付けてください。

取り付け手順は、お使いのパソコンによって異なります。
本書で紹介している取り付け手順は一例です。お使いのパソコンによっては手順が異なりますので、あらかじめご了承ください。なお、本書の記載内容に従って作業を行いパソコンや本製品が破損 / 故障した場合であっても、弊社は一切の保証を致しかねます。

パソコンメーカーおよび弊社への取り付け手順に関するお問い合わせはご遠慮ください。
弊社では、パソコンへの取り付け方法に関するお問い合わせを承っておりません。また、パソコンメーカーへのお問い合わせもご遠慮ください。

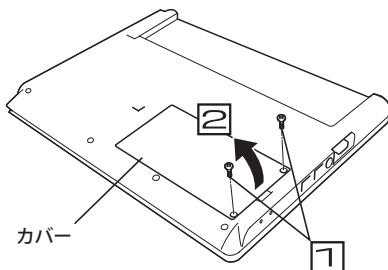
DOS/V パソコンへの取り付け手順例

東芝社製「dynabook PX/820LL」での取り付け手順の例を説明します。

1 **パソコンの電源を OFF にした後、パソコンのマニュアルを参照して、電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を取り外します。**

2 **パソコンのマニュアルを参照して、パソコンのカバーを開きます。**

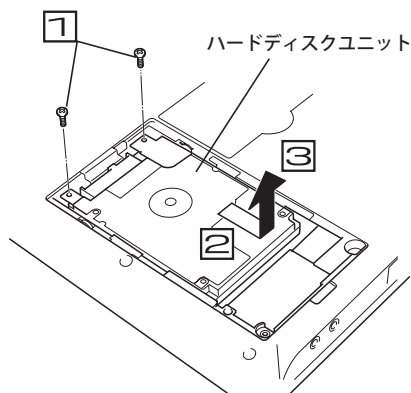
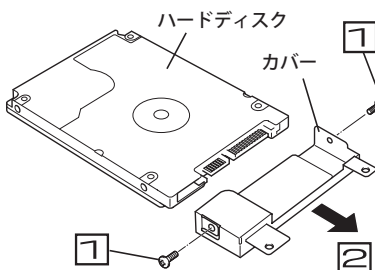
1 ネジを外す

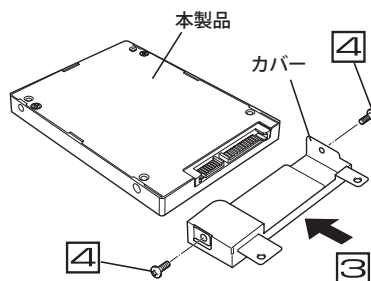
2 カバーを外す

3 **ハードディスクユニットを取り外します。**

⚠注意 **コネクターに無理な力が加わらないように注意して、取り外してください。**

1 ネジを外す

2 ハードディスクユニットを引き抜く

3 ハードディスクユニットを取り外す

4 **ハードディスクを本製品に交換します。**

1 ネジを外す

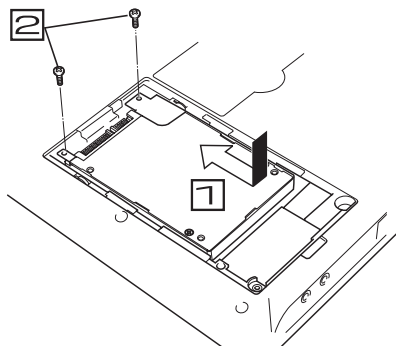
2 ハードディスクからカバーを取り外す

3 本製品にカバーを取り付ける

4 本製品をネジ止めする

次のページへ続く

5 本製品をパソコンに取り付けます。

1 本製品をパソコンに接続する

2 本製品をパソコンにネジ止めする

6 パソコンのカバー、バッテリー、電源ケーブルや AC アダプターの順にパソコンに取り付けます。

取り外した手順と逆の手順で取り付けてください。

以上で取り付けは完了です。

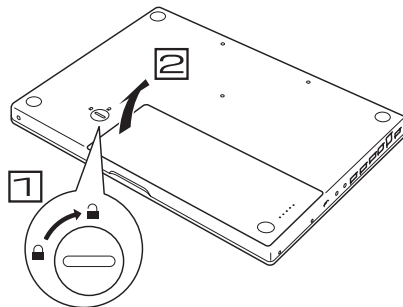
Macintosh への取り付け手順例

Apple 社製「MacBook MB062J/A」での取り付け手順の例を説明します。

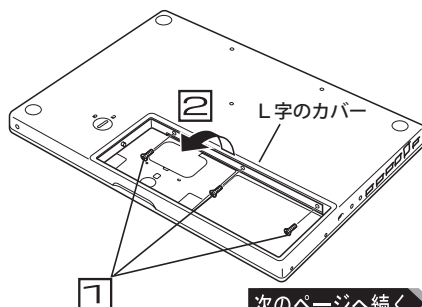
1 パソコンの電源を OFF にした後、電源ケーブルや AC アダプターを取り外します。

2 パソコンのマニュアルを参照して、パソコンのバッテリーを取り外します。

1 ロックを外す

2 バッテリーを取り外す

3 L 字のカバーを取り外します。

1 ネジを外す

2 L 字のカバーを取り外す

次のページへ続く

4 ハードディスクユニットを取り外します。

1 テープを引き出す

2 テープを引っ張ってハードディスクユニットを引き抜く

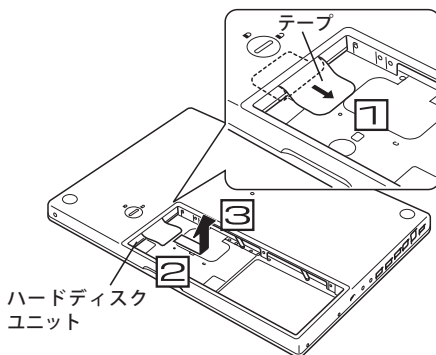
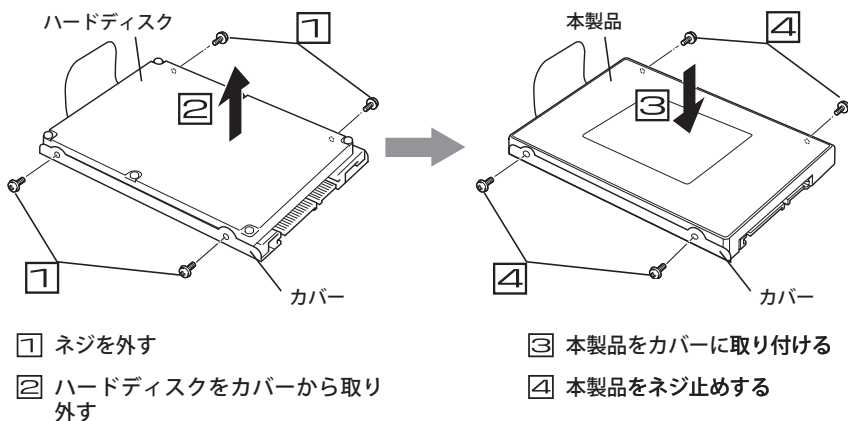
3 ハードディスクユニットを取り外す

5 ハードディスクを本製品に交換します。

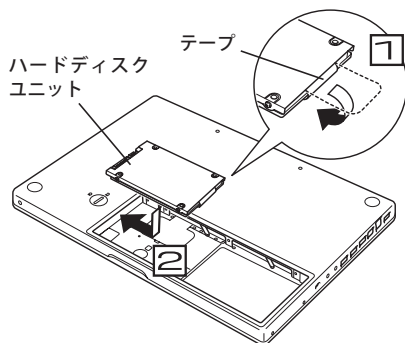
1 ネジを外す

2 ハードディスクをカバーから取り外す

3 本製品をカバーに取り付ける

4 本製品をネジ止めする

6 本製品をパソコンに取り付けます。

1 テープを本製品に巻き込む

2 本製品をパソコンのコネクターに接続する

7 パソコンのカバー、バッテリー、電源ケーブルや AC アダプターの順にパソコンに取り付けます。

取り外した手順と逆の手順で取り付けてください。

以上で取り付けは完了です。

3 OS のインストール

パソコンに取り付けた本製品に OS をインストールする手順を説明します。

メモ
・詳しい手順は OS のマニュアル、またはパソコンのマニュアルを参照してください。
・本製品を起動ドライブにしない場合は、OS をインストールする必要はありません。フォーマットだけを行ってください。

ご注意

OS をインストールするときは、以下のことにご注意ください。

● **本書に記載されているインストール手順は一例です。必ず使用しているパソコンと OS のマニュアルを参照してください。**

● **OS をインストールやフォーマットする前に、ハードディスクや本製品の環境をもう一度確認してください。**
OS のインストールやフォーマットをすると、選択したドライブ内のデータはすべて消去されます。誤って大切なデータやプログラムを消去してしまうことのないように、フォーマットするドライブのドライブ名を必ず確認しておいてください。

● **OS のインストールやフォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、パソコンを再起動しないでください。**
ディスクが破損するおそれがあります。また、その後の動作に関しても保証できませんのでご注意ください。

● **フォーマット時の制限について**
Windows Vista/XP/2000 では OS のインストール中に本製品をフォーマットする必要があります。画面の指示に従ってフォーマットしてください。なお、FAT32 形式でフォーマットする場合は、1 パーティションあたりの最大サイズが、32.7GB となります。Windows XP/2000 をお使いの場合は、付属ソフトウェア「DiskFormatter」でフォーマットすれば、32.7GB 以上の容量も 1 パーティションでフォーマットできます。
※フォーマット形式（NTFS、FAT32、FAT16）については、次ページを参照してください。

次のページへ続く

FAT16、FAT32、NTFS の特徴

FAT16、FAT32、NTFS には、それぞれ次のような長所と短所があります。

※ ここでは、各フォーマット形式の一般的な特徴を説明しています。本製品は、Windows Me/98SE/98/95/NT/3.1 、DOS などには対応しておりませんのでご注意ください。

FAT16

長所　Windows 95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS でも使用できる。

短所
- 1 つの領域として確保できる容量は最大 2047MB まで。
- 確保する容量が大きくなるとクラスターサイズも大きくなり、ディスクの使用が非効率的になる。

FAT32

長所
- クラスターサイズが FAT16 よりも小さく、ディスクを効率的に使用できる。

短所
- Windows 95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS などでは使用できない。
- 1 ファイルの容量は最大 4GB まで。
- 確保する領域が 512MB 以下のときは、FAT16 としてフォーマットされる（FAT32 としてはフォーマットできません）。

NTFS

長所
- 1 ファイルが 4GB 以上でも保存できる。

短所
- Windows Me/98SE/98/95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS などでは使用できない。

パソコン付属の CD-ROM からインストールする

インストール手順はパソコンのマニュアルを参照してください。

⚠注意 **137GB 以上の製品に Windows XP/2000 をインストールする場合は、OS のインストール後に、次ページの「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」の手順を実行してください。実行しないと、データが破損、消滅する恐れがあります。**

メモ OS をインストールした後、本製品内に未使用領域がある場合は、パーティションを作成し、フォーマットしてください。

Windows Vista/XP/2000 のインストール

インストール手順は Windows のマニュアルを参照してください。インストール中にフォーマットが実行されるので、画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

■インストール手順

Windows を新規にインストールする場合の一般的な手順は、次のとおりです 。

本製品をパソコンに取り付ける

▼

Windows の起動ディスクから起動する

▼

Windows をインストールする【各 OS のマニュアルを参照】

▼

パソコンを再起動する

⚠注意 **Windows XP/2000 で 137GB 以上の本製品をお使いの場合は、OS のインストール後に、次の「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」の手順を実行してください。実行しないと、データが破損、消滅する恐れがあります。**

次のページへ続く

137GB 以上の製品をお買い上げの方へ(Windows XP/2000 のみ)

OS をインストールした後に以下の手順を行ってください

Windows XP/2000 で 137GB 以上の本製品を使用する場合、以下の手順を行わないとデータが破損・消滅する恐れがあります。必ず以下の手順を行ってください。

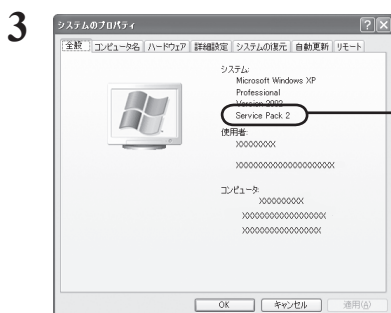
※ 137GB 未満の製品の場合は、以下の手順を行う必要ありません。

■サービスパックの確認をする

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にします。**

2 **[スタート] メニュー内（Windows 2000 の場合はデスクトップ）の [マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックをします。**

プロパティ画面が表示されます。

3

Windows XP の場合は「Service Pack 2」以上、Windows 2000 の場合は「Service Pack 3」以上が表示されていることを確認してください。

表示されていない場合は、Windows Update(http://windowsupdate.microsoft.com/) からインストールしてください。

Windows XP をお使いの方は、以上で完了です。
Windows 2000 をお使いの方は、続いて「ユーティリティーを実行する（Windows 2000 のみ）」の手順を行ってください。

■ユーティリティーを実行する（Windows 2000 のみ）

1 **パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。**

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、［マイ コンピュータ (またはコンピュータ)］内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 **「137GB 以上の製品をご購入の方へ」を選択し、[開始] をクリックします。**

以降は画面の指示に従って実行してください。

Mac OS のインストール

インストール手順は、Mac OS のマニュアルを参照してください。

4 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクや本製品などに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクや本製品などには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
Windows の場合、付属ソフトウェア「Acronis True Image LE」でバックアップを作成することができます。詳しくは、「付属ソフトウェアの概要」（P19）を参照してください。

⚠注意 ハードディスクや本製品などを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・ネットワーク (LAN) サーバー　・増設ハードディスク　・Blu-ray Disc
・DVD-R/RW　・DVD+R/RW　・DVD-RAM　・CD-R/RW　・フロッピーディスク
・光磁気ディスク（MO）

大容量ハードディスクや本製品などのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限り容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクや本製品などに復元することをリストアといいます。リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認してください。

メンテナンス（Windows のみ）

Windows 付属のツールを使用したハードディスクや本製品のメンテナンスについて説明します。

ハードディスクや本製品のエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には、ハードディスクや本製品のエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクや本製品を安全に使用するために、ハードディスクや本製品を定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ　エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。

付属ソフトウェアの概要（Windows のみ）

ここでは本製品に付属のソフトウェアの概要を説明します。各ソフトウェアのインストール方法は「付属ソフトウェアのインストール」（P21）を参照してください。

各ソフトウェアのマニュアル (PDF ファイル) を読むには、Acrobat Reader(または Adobe Reader) が必要です。パソコンにインストールされていないときは、付属 CD を使ってインストールしてください。使いかたについては、ヘルプファイルをご参照ください。

Acronis True Image LE

シリアル ATA の AHCI には対応しておりません。また、お使いのパソコン環境（チップセットなど）によっては、正常に動作しないことがあります。本ソフトウェアの操作方法や製品情報は、株式会社ラネクシーまでお問合せください (P25 参照)。株式会社バッファローでは、本ソフトウェアに関するお問い合わせを承っておりません。

Acronis True Image LE は、バックアップを作成するソフトウェアです。Windows を起動したままバックアップを作成できます。データのバックアップだけでなく、OS のインストールされた領域のバックアップも可能です。システムの入った領域を他の領域にバックアップしておけば、システムの入った領域に何かあった場合、復旧が容易に行えます。

⚠注意 **Acronis True Image LE は、「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」より先にインストールしてください。先にインストールしないと、正常にインストールできないことがあります。**

● できること

・ バックアップ（イメージ）の作成と復元
・ パーティションの再配置とサイズ変更
・ Windows のすべてのファイルシステム（FAT 16/32、NTFS）をサポート

● 使いかた

Acronis True Image LE のマニュアルを参照してください。Acronis True Image LE のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [True Image LE のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

Acronis Migrate Easy

Acronis Migrate Easy は、ハードディスクに保存された内容を本製品や他のハードディスクに転送（コピー）するソフトウェアです。データの転送だけでなく、Windows の設定やメールの設定、ディレクトリー構成など、ハードディスク全体の情報をそのまま本製品や他のハードディスクに転送できます。また、本製品やコピーするハードディスクの容量に合わせてパーティションのサイズを変更でき、新しいパーティションを作成することもできます。

⚠注意
・Acronis Migrate Easy を使用するには、本製品やハードディスク (パソコン内蔵も含む) が接続されている必要があります。パソコンにハードディスクを 2 台以上取り付けできない場合は、外付けのハードディスクをご利用ください。
・Acronis Migrate Easy は RAID 0 構成パソコンのハードディスク環境からのバックアップは対応していません。

● できること

・ 設定やディレクトリー構成などを変えることなく本製品や他のハードディスクへのデータ転送
・ 転送したパーティションサイズの変更やパーティションの位置の移動
・ 新しいパーティションの作成
・ 新しい起動用ディスクまたはデータストレージデバイスの作成

次のページへ続く

● 使いかた

Acronis Migrate Easy のヘルプを参照してください。Acronis Migrate Easy インストール後に Acronis Migrate Easy のメニューから [ヘルプ]-[ヘルプ] をクリックすると表示されます。

Acronis Disk Director LE

Acronis Disk Director LE は、保存されたデータを消すことなくパーティションのサイズを変更したり、コピーしたり、移動することができるソフトウェアです。また、新しいパーティションを作成し、フォーマットすることもできます。

● できること

・ パーティションの作成
・ パーティションのサイズを変更やパーティションを移動
・ パーティションの内容の移動
・ パーティションの削除

● 使いかた

Acronis Disk Director LE のマニュアルを参照してください。Acronis Disk Director LE のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [Disk Director LE のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

Acronis DriveCleanser

ハードディスク全体や個別のパーティションのデータ、本製品内のデータを完全に削除するソフトウェアです。

Acronis DriveCleanser で削除したデータは、ファイル復旧ユーティリティーなどでも復旧できません。パソコンやハードディスク、本製品の廃棄時など、データを完全に削除したい場合にお使いください。

● できること

・ ハードディスク全体のデータ完全消去
・ パーティションのデータ完全消去
・ 本製品全体のデータ完全消去

● 使いかた

Acronis DriveCleanser のマニュアルを参照してください。Acronis DriveCleanser のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [Acronis DriveCleanser のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

次のページへ続く

Disk Formatter

Disk Formatter は、ハードディスクなどのドライブ機器 (本製品を含む) を簡単にフォーマットすることができるソフトウェアです。

⚠注意 **Windows Vista をインストールした機器 (ハードディスクや本製品) で使用しないでください。Disk Formatter でフォーマットすると、フォーマット後に Windows が起動しなくなることがあります。**

● できること

- パソコンに増設したハードディスクのパーティション作成やフォーマットが簡単に行えます。MO、スマートメディア、コンパクトフラッシュなどリムーバブルメディアもフォーマットできます。
- 論理フォーマットだけでなく物理フォーマットも可能です。

● 使いかた

Disk Formatter のマニュアルを参照してください。Disk Formatter のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [Disk Formatter のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

付属ソフトウェアのインストール（Windows のみ）

付属のユーティリティー CD には、付属ソフトウェア が収録されています。以下の手順でインストールしてください。

⚠注意 **Acronis True Image LE は、「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」より先にインストールしてください。「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」を先にインストールした場合、正常にインストールできないことがあります。**

1 付属のユーティリティー CD をパソコンにセットします。

簡単セットアップが起動します。
※簡単セットアップが起動しないときは、［マイ コンピュータ (またはコンピュータ)］内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。
※ Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BInst.exe の実行] をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

2 インストールしたいソフトウェアを選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

⚠注意
- **シリアル番号の入力が要求されたときは、本書表紙に記載されている番号を入力してください。**
- **再起動を要求されたときは、ユーティリティー CD をパソコンから取り出した後、画面に従って再起動してください。ユーティリティー CD をパソコンにセットしたまま再起動すると、Acronis True Image LE や Acronis Migrate Easy が起動することがあります。Acronis True Image LE や Acronis Migrate Easy が起動したときは、ユーティリティー CD をパソコンから取り出してから Acronis Ture Image LE や Acronis Migrate Easy を終了してください。パソコンが再起動して Windows が起動します。**

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

セクターサイズ	512Byte
電源仕様	5.0V ± 0.25V
消費電力	平均 : 2.5W、最大 : 4.75W
動作環境	温度 0 ～ 70℃　湿度 5%～ 95%（結露なきこと）
インターフェース	SATA 2.6 Specification 準拠 SATA Signal コネクター / 15 ピン SATA Power コネクター搭載
対応機種	シリアル ATA ポートを標準搭載する次の機種 ・DOS/V 機（OADG 仕様） ・Apple 社製 MacBook
対応 OS	・DOS/V : Windows Vista/XP/2000 ・Macintosh : Mac OS X 10.4 以降

※ 富士通製 PC FMV-BIBLO MG55 シリーズ、MG50 シリーズ、FMV-S8220 シリーズ、S8230 シリーズ、S8240 シリーズ、S8250 シリーズには対応しておりません。

※ 本製品を拡張ボードに取り付ける場合は、弊社製 IFC-PCIE2SA、IFC-PCI2SA、IFC-PCI7ESAU2 をお使いください。その他の拡張ボードには対応しておりません（弊社製 IFC-ATS2P2 には対応しておりません）。

切り取り

保　証　書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。

・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社バッファロー

本社　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通四丁目15番

お　名　前	フリガナ
ご　住　所	〒 TEL:(　　　)　　　ー

製　品　名	
保証期間	ご購入日より1年間 (SHD-NSMRシリーズはご購入日より3年間)
ご購入日 ※販売店様記入欄	年　　月　　日 ご購入日が確認できる書類（レシートなど）を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当

切り取り

切り取り

保　証　契　約　約　款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）

1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）

1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo.等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条（修理）

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 修理のご依頼時には製品を弊社修理センターにご送付ください。修理センターについては各製品添付のマニュアル（電子マニュアルを含みます）またはパッケージをご確認ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、 修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条（免責事項）

1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条（有効範囲）

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

切り取り

「Acronis True Image LE」、「Acronis Migrate Easy」、「Acronis Disk Director LE」、「Acronis DriveCleanser」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。

※株式会社バッファローでは、「Acronis True Image LE」、「Acronis Migrate Easy」、「Acronis Disk Director LE」、「Acronis DriveCleanser」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　株式会社ラネクシー

【サポート情報】

インターネット：　http://www.runexy.co.jp/support/buffalo.html

TEL：　0570-032610(携帯電話・PHSでは繋がりません)
受付時間　月～金曜日 9:00～17:00(夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く)

※ サポートセンターのご利用にはユーザー登録が必要になります。ユーザー登録をすることにより、バージョンアップ情報やその他ラネクシー製品のお得な優待販売のお知らせなどが届きます。(希望する場合のみ)

【ユーザー登録】

https://www.runexy.co.jp/support/signin.html

※ 登録後、サポートを受ける際に必要になる製品シリアルが発行されます。

※ ラネクシー社のソフトウェアと製品本体(株式会社バッファロー)のユーザー登録は別々に行う必要があります。バッファローのユーザー登録も忘れずに行ってください。

ハードディスクや本製品の破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスクや本製品上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスクや本製品上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクや本製品に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

万一、 お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

付属の Acronis DriveCleanser を用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

詳しくは http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご参照ください。

※ ソフトウェアを削除することなくハードディスクや本製品、パソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますのでご注意ください。

SHD-N シリーズ ユーザーズマニュアル
2008 年 12 月 5 日 第 2 版発行
発行　　株式会社バッファロー

● SSDの取り付け手順やOSのインストールに関してのお問い合わせは、弊社サポートセンターでは承っておりません。あらかじめご了承ください。
●付属ソフトウェア「Acronis True Image LE」、「Acronis Migrate Easy」、「Acronis Disk Director LE」、「Acronis DriveCleanser」に関してのお問合せは、前ページに記載の株式会社ラネクシーまでお問合せください。

35010673 ver.02 2-01 C10-013